

日程表

会期：2018年2月25日（日）

会場：慶應義塾大学病院 2号館 11階大会議室（東京都新宿区）

8:00	8:00~8:50 理事会 8:30~ 受付開始
9:00	8:55~9:00 開会の辞 会長 佐谷 秀行 9:00~10:00 一般演題1 座長 太田 有史 演題1 杉本 卓也、演題2 かづき れいこ、演題3 石地 豊子、 演題4 生田 国大、演題5 倉持 朗、演題6 関山 紘子
10:00	10:10~10:45 教育講演1 「希少がんの包括的な臨床開発」 座長 小崎 健次郎 演者 米盛 勸
11:00	10:45~10:55 学会報告「CTF meeting(NF conference)報告」 座長 有馬 好美 演者 國仲 慎治 11:00~11:50 特別講演 「希少疾患に対する遺伝学的アプローチ」 座長 西田 佳弘 演者 小崎 健次郎
12:00	12:00~12:50 懇親会（昼食）
13:00	12:55~13:00 庶務報告 佐谷 秀行 13:00~13:20 会長講演 「演題名」 座長 新村 真人 演者 佐谷 秀行
14:00	13:25~14:15 シンポジウム「非腫瘍性 NF1 症候に対する治療戦略」 座長 倉持 朗 シンポジウム1 西田 佳弘、シンポジウム2 貴志 和生 14:20~14:55 教育講演2 「肥満細胞とカハール介在細胞の分化と癌化」 座長 佐谷 秀行 演者 北村 幸彦
15:00	15:00~15:10 休憩
16:00	15:10~16:10 一般演題2 座長 谷戸克己 演題7 福田 浩孝、演題8 山本 美佐、演題9 吉永 彬子、 演題10 肥田 時征、演題11 緒方 克己、演題12 三宅 晃史
	16:10~16:15 開会の辞 会長 佐谷 秀行

第9回日本レックリングハウゼン病学会学術大会プログラム
平成30年2月25日

8:55~9:00 開会の辞

会長 佐谷秀行

9:00~10:00 一般口演1

座長 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座:太田有史

演題1:神経線維腫症1型として経過観察中に腎血管筋脂肪腫の破裂を機に結節性硬化症と診断された23歳女性例.

A 23-year-old female complicated Neurofibromatosis-1 and tuberous sclerosis that revealed by rupture of renal angiomyolipomas.

○杉本卓也¹⁾²⁾, 月野隆一²⁾

和歌山県立医科大学 総合周産期母子医療センター¹⁾, 小児科²⁾

演題2:神経線維腫症I型患者に対する極薄粘着テープおよびリハビリメイクの効果
Effects of ultra-thin adhesive tape and rehabilitation makeup for Neurofibromatosis type 1 Patients

○かづきれいこ¹⁾²⁾, 小川令²⁾

¹⁾REIKO KAZKI、²⁾日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科

演題3:神経線維腫症1型(NF1)とレジウス症候群(LS)の鑑別のための遺伝子診断に関するアンケート調査

Validity of spread 1 gene analysis to distinguish NF1 from Legius syndrome: A questionnaire survey of medical doctors' perception

○石地豊子¹⁾²⁾, 小野正恵²⁾, 堺則康²⁾, 後藤雄一²⁾, 小崎健次郎²⁾, 倉持朗²⁾, 後藤孝也²⁾, 貴志和生²⁾, 石地尚興²⁾, 新村真人²⁾, 佐谷秀行²⁾

¹⁾がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター、²⁾日本レックリングハウゼン病学会

演題4:前医切除後に受診した悪性末梢神経鞘腫瘍の臨床的特徴

Clinical features of malignant peripheral nerve sheath tumors after unplanned resection

○生田国大¹⁾、西田佳弘¹⁾、筑紫聡²⁾、浦川浩¹⁾、新井英介¹⁾、浜田俊介¹⁾、大田剛広¹⁾、石黒直樹¹⁾

¹⁾名古屋大学整形外科、²⁾愛知県がんセンター中央病院

演題5: 神経線維腫症 1 型の結節状蔓状神経線維腫に対する対応

Treatment and Management of Nodular Plexiform Neurofibromas of Patients with Neurofibromatosis Type1

○倉持 朗

埼玉医科大学 皮膚科学教室

演題6: びまん性神経線維腫内の血腫による皮膚潰瘍に対し陰圧閉鎖療法が有用であった神経線維腫症 1 型の 2 例

Successful treatment by negative-pressure wound therapy for ulcer located on diffuse plexiform neurofibroma

○関山紘子, 近藤佐知子, 菊池荘太, 谷戸克己, 延山嘉眞, 石地尚興, 中川秀己
東京慈恵会医科大学皮膚科学講座

10:10~10:45 教育講演 1

座長 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター: 小崎健次郎

希少がんの包括的な臨床開発 ~MASTER KEY Project とは?~

Challenge of Clinical Development in Rare Cancer field

○米盛 勸

国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科

10:45~10:55 学会報告

座長 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門: 有馬好美

Children's Tumor Foundation meeting(NF conference)報告

Meeting report of Children's Tumor Foundation NF conference

○國仲慎治

慶應義塾大学医学部先端医科学研究所

11:00～11:50 特別講演

座長 名古屋大学大学院医学系研究科整形外科学教室 西田佳弘

「希少疾患に対する遺伝学的アプローチ」

Genetic approach to rare genetic diseases

○小崎健次郎

慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

12:00～12:50 懇親会(軽食)

会場:慶應義塾大学病院 2号館 11階 レストラン「ザ・パーク」

12:55～13:00 庶務報告 日本レックリングハウゼン病学会理事長 佐谷秀行

13:00～13:20 会長講演

座長 東京慈恵会医科大学名誉教授:新村真人

「アカデミア主導の薬剤開発の現状」

Current status of drug development led by academia

○佐谷秀行

慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門

13:25～14:15 シンポジウム

「非腫瘍性 NF1 症候に対する治療戦略」

座長 埼玉医科大学 皮膚科学教室 : 倉持 朗

S-1: NF1 患者における整形外科関連症候に対する治療戦略

Therapeutic modality for skeletal abnormalities in NF1 patients

○西田佳弘、鬼頭浩史、今釜史郎

名古屋大学大学院医学系研究科整形外科学教室

S-2: 出血のコントロールが困難で、大量出血となった頭頸部びまん性神経線維腫の
1 例

A case of diffuse neurofibroma of the head and neck lesion which was difficult to
control bleeding during operation

○貴志和生、岡部圭介、荒牧典子、酒井成貴、西田倫、継渉

慶應義塾大学医学部形成外科学教室

14:20～14:55 教育講演 1

座長 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門: 佐谷秀行

肥満細胞とカハール介在細胞の分化と癌化

Development and Oncogenesis of Mast Cell and Interstitial Cell of Cajal

○北村 幸彦

大阪大学名誉教授

15:00～15:10 休憩

15:10～16:10 一般口演 2

座長 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座: 谷戸克己

演題 7: 日本人レックリングハウゼン病患者の NF1 遺伝子変異と臨床症状相関

Genotype-phenotype relationships in Japanese NF1 patients

○福田浩孝¹⁾、太田有史¹⁾、谷戸克己¹⁾、中川秀己¹⁾、新村真人¹⁾、丸岡 亮²⁾、小崎健次郎²⁾、佐谷秀行³⁾

¹⁾東京慈恵会医科大学皮膚科学講座、²⁾慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター、

³⁾慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門

演題 8: 神経線維腫瘍増殖における MnSOD の役割

The role of manganese SOD for neurofibroma development

○山本美佐、村上拓也、迫村拓哉、門田夏貴、松坂香織、山下菜摘、河野裕夫

山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学領域

演題 9: 当科における神経線維腫症 1 型患者の手術治療の有無に関する後方視的比較検討

Retrospective comparative study on the surgical or observed patients with neurofibromatosis type 1 in our department

○吉永彬子、松浦喜貴、津下到、綾梨乃、岸本英明、江野尻竜樹、野田和男、齊藤晋、鈴木茂彦

京都大学形成外科

演題 10: 巨大な褐色斑と多発性色素性母斑を伴ったびまん性神経線維腫

Diffuse neurofibroma with giant brown macule and multiple melanocytic nevi

○肥田時征¹⁾、杉田真太郎²⁾、菅原太郎²⁾、山下利春³⁾、宇原 久¹⁾

¹⁾札幌医科大学医学部皮膚科、²⁾札幌医科大学医学部病理診断学、³⁾札幌市

演題 11: 脈管奇形を伴った左下腿のびまん性神経線維腫の治療経験

Experience in treatment of diffuse plexiform neurofibroma of the left lower leg with vascular malformation

○緒方克己、帖佐宣昭、津守伸一郎

古賀総合病院 皮膚科

演題 12: 悪性末梢神経鞘腫瘍により椎骨動脈が圧迫され小脳梗塞をきたした 37 歳女性例

A 37-year-old female whose malignant peripheral nerve sheath tumor pressed a vertebral artery and caused cerebellar infarction

○三宅晃史、川崎一史、池田桂、中里良彦、荒木信夫、倉持朗、山元敏正
埼玉医科大学 神経内科学教室／埼玉医科大学 皮膚科学教室

16:10～16:15 閉会の辞

会長 佐谷秀行

「日本レックリングハウゼン病学会雑誌」原稿作成要領

学会会員の皆様へ

この度は、第9回日本レックリングハウゼン病学会学術大会におきまして、ご発表いただきありがとうございます。

本学会では、ご発表いただきました先生方に、学術大会終了後、ご発表内容をまとめていただき、日本レックリングハウゼン病学会雑誌に寄稿していただくことをお願いしております。

本学会雑誌編集委員会から「寄稿用のひな形(Wordファイル)」と「記入例」をメールにてお送りしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

記入要項は以下の通りです。

1. 原稿の構成

- 1) タイトル、著者名、所属名(和文および英文)
- 2) 和文要旨(400字以内)
- 3) 英文要旨(250 words 以内)、Key words(5つ以内)
- 4) 本文: 和文 4~8 ページ程度(図表を含む)
- 5) 図、表、写真はモノクローム印刷として、タイトルと説明を付記
- 6) 引用文献: 記載はバンクーバー方式

2. 提出期限

2018年3月31日(土)

3. 原稿提出方法

メールにてご提出ください。

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36 番地の 1

鳥取大学医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野 内

日本レックリングハウゼン病学会雑誌 編集委員会 (吉田 雄一)

Tel: 0859-38-6597 Fax: 0859-38-6599

E-mail: yxyhiful@med.tottori-u.ac.jp

第9回日本レックリングハウゼン病学会学術大会

賛助団体ご芳名

マルホ株式会社

株式会社ベアーメディック

株式会社モルフォテクノロジー

(敬称略 順不同)

本学術大会を開催するにあたり、上記の方々より多大なご支援をいただきました。
ここにご芳名を記し、感謝いたします。

平成30年2月9日

第9回日本レックリングハウゼン病学会学術大会

会長 佐谷秀行